家庭用

マイコン沸とう

VE電気まほうびん

型名 CV-NX30型 取扱説明書

保証書つき

このたびはお買い上げいただき、まことにありがとうございました。
この「取扱説明書」をよくお読みのうえ、正しくお使いください。
お読みになったあとは、大切に保存してください。

■ VE＝真空・電気保温方式

真空二重構造による断熱と電気保温を使った経済的な保温方式です。
（**VEとは**Vacuum「真空」&Electric「電気」の略）

■ コードレス給湯

アルカリ乾電池単3形2本で電源コードを使わなくても給湯できます。
（乾電池は、別途お買い求めください。）

■ カフェドリップ給湯

少量（通常給湯の約60%）ずつ給湯できるので、湯のはね返りが
少なくコーヒードリップに最適です。（P.11参照）

■ お知らせメロディー

沸とう完了時
曲名「メヌエット」（バッハ）

タイマーセット完了時
曲名「ビューティフルドリーマー」
〜夢見る佳人〜（フォスター）

もくじ

安全上のご注意　必ずお守りください

⚠警告	取り扱いを誤ると、死亡または重傷などを負う可能性がある内容を表しています。
⚠注意	取り扱いを誤ると、傷害または物的損害が発生する可能性がある内容を表しています。

記号について

△記号は、警告、注意を促す内容があることを告げるものです。図の中に具体的な注意内容が描かれています。
下図の場合は、「感電注意」を表します。

⃠記号は、禁止の行為であることを告げるものです。
図の中や近くに具体的な禁止内容が描かれています。
下図の場合は「分解禁止」を表します。

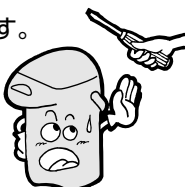
●記号は、行為を強制したり指示したりする内容を告げるものです。図の中に具体的な指示内容が描かれています。下図の左は「差込みプラグを抜く」右は必ず実行していただく「強制」内容です。

※お読みになった後は、お使いになる方がいつでも見られるところに必ず保存してください。
※お買い上げの商品と取扱説明書に記載しているイラストが異なる場合があります。

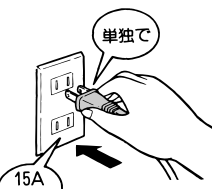
⚠警告

■改造はしない。また修理技術者以外の人は、絶対に分解したり修理をしない

火災・感電・けがの原因になります。
修理はお買い上げの販売店または弊社のお客様ご相談窓口にご相談ください。

分解禁止

■定格15A以上のコンセントを単独で使う

他の器具と併用すると分岐コンセント部が異常発熱して発火することがあります。

コンセントを単独で使用

■水につけたり、水をかけたりしない
■流し台など水にぬれた場所に置かない

ショート・感電の恐れがあります。

水ぬれ禁止

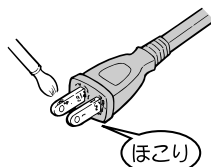
■満水表示以上の水を入れない

湯がふきこぼれ、やけどの恐れがあります。

禁　止

■差込みプラグの刃(プラグの先端)および刃の取付面にほこりが付着している場合はよくふく

火災の原因になります。

ほこりをふく

■蒸気口をふきんなどでふさがない

湯がふきこぼれて、やけどをすることがあります。

禁　止

ご使用の前に

※ここに表した注意事項は、あなたや他の人々への危害や損害を未然に防止するためのもので、「警告」「注意」の2つに分けてお知らせしています。いずれも安全に関する重要な内容ですので、必ずお守りください。

警告

■本体を抱きかかえたり、傾けたり、ゆすったり、上ぶたを持って移動や排湯をしない

自動ロックされていても、本体を傾けたり倒したりすると注ぎ口や蒸気口から湯が流れ出て、やけどの恐れがあります。

禁 止

■電源コードや差込みプラグが傷んだり、コンセントの差し込みがゆるいときは使用しない

感電・ショート・発火の原因になります。

禁 止

■子供だけで使わせたり、幼児の手の届くところで使わない

やけど・感電・けがをする恐れがあります。

禁 止

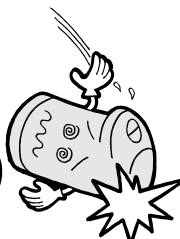
■上ぶたを勢いよく閉めない

湯がふきこぼれ、やけどの恐れがあります。

禁 止

■ポットを転倒させない

自動ロックされていても、本体を傾けたり倒したりすると注ぎ口や蒸気口から湯が流れ出て、やけどの恐れがあります。

禁 止

■蒸気口に手を触れない

やけどをすることがあります。

特に乳幼児にはさわらせないようご注意ください。

接触禁止

■マグネットプラグをなめさせない

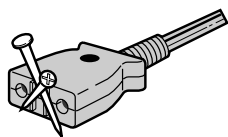
感電やけがの原因になります。

特に乳幼児が誤ってなめないよう注意してください。

禁 止

■マグネットプラグの先端にピンなど金属片やごみを付着させない

感電・ショート・発火の原因になります。

禁 止

■交流100V以外では使用しない

火災・感電の原因になります。

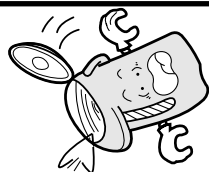
禁 止

■上ぶたをつけたまま残り湯をすてない

上ぶたがはずれたときに湯がかかってやけどする恐れがあります。

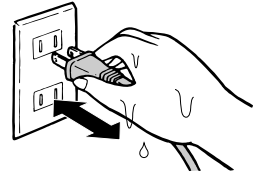
禁 止

安全上のご注意　つづき

警告

■差込みプラグはコンセントの奥までしっかり差し込む

感電・ショート・
発煙・発火の
原因になります。

■ぬれた手で差込みプラグを抜き差ししない

感電やけがを
することがあ
ります。

■水以外のものをわかさない

お茶、牛乳、酒などは
わき上がるときに
ふき出して
やけどの恐れが
あります。

■氷を入れて保冷用に使わない

結露が生じ、感電、
故障の恐れがあり
ます。

■電源コードを傷つけない

無理に曲げたり、引っ張ったり、ねじったり、たばねたり、
高温部に近づけたり、重いものをのせたり、挟み込んだり、
加工したりすると電源
コードが破損し、火災・
感電の原因になります。

■上ぶたは確実に閉める

倒れたときに湯が
流れ出てやけどの
恐れがあります。

注意

■湯わかし中は、湯を注がない

湯が飛び散り
やけどの原因
になります。

■使用時以外は、差込みプラグをコンセントから抜く

けがややけど、絶縁劣
化による感電・漏電火
災の原因になります。

■差込みプラグを抜くときは、コードを持たずに必ず先端の差込みプラグを持って抜く

感電やショート
して発火するこ
とがあります。

■不安定な場所や熱に弱い敷物の上では使用しない

火災の原因に
なります。

■使用中や使用後しばらくは高温部に触れない

やけどの原因になります。

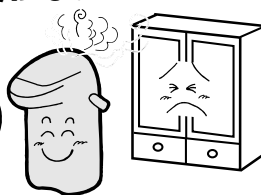
■上ぶたを開けるとき、出る蒸気に触れない

やけどの原因になります。

■お手入れは冷えてから行う

高温部に触れ、やけどの恐れがあります。

■壁や家具の近くで使わない

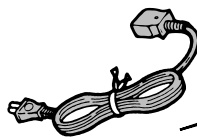
蒸気または熱で壁や家具を傷め、変色、変形の原因になります。

■出湯中に本体を回さない

湯が飛び散りやけどの恐れがあります。

■本体を持ち運ぶときは、上ぶた開閉つまみに触れない

上ぶたが開いてけがややけどをすることがあります。

■専用の電源コード以外は使用しない
■電源コードは他の機器に転用しない

故障、発火の恐れがあります。

お願い

■空だきはしない 火災・故障の原因になります。

■落とす、ぶつけるなどの衝撃を与えない
故障・破損の原因になります。

■キッチン用収納棚などの上で湯わかしをする場合、蒸気が天井部分に当たらないように注意する
変色や変形の原因になります。

■水以外のもの(氷・スープ・牛乳・レトルト食品・お茶など)は入れない
ティーバッグやお茶の葉を入れてわかしたり、インスタント食品を調理したりすると泡立ち、内容物がふき出してやけどをすることがあります。また水路がつまったり内容器の焦げつきや腐食、フッ素被膜がはがれる原因になります。

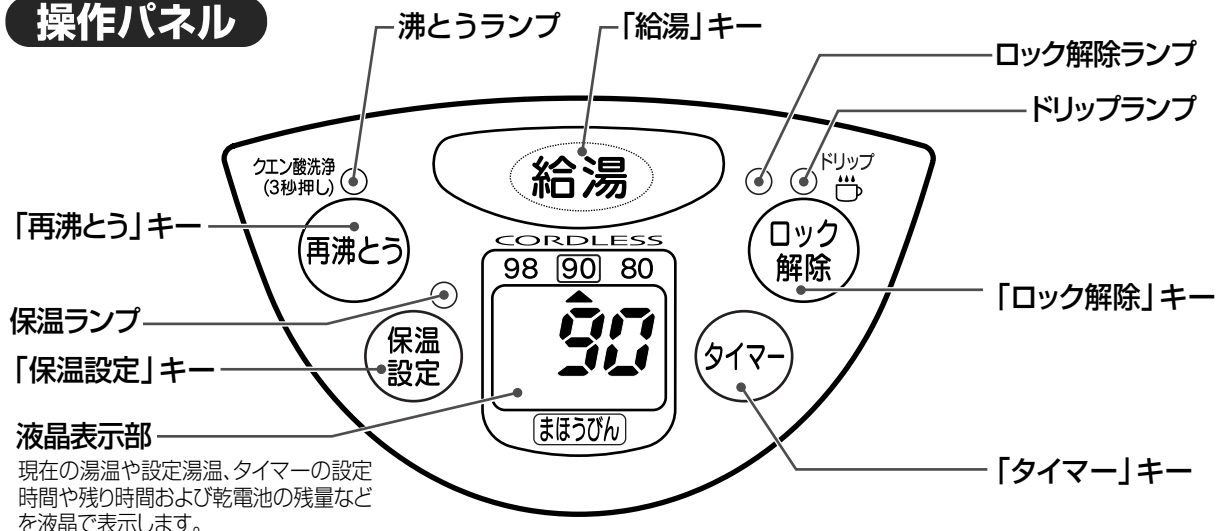
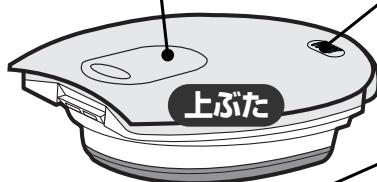
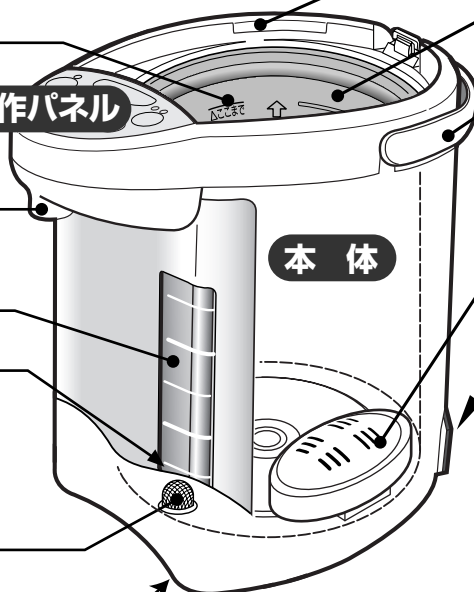
■熱源のそばで使わない 火災・故障の原因になります。

■凍結する恐れのある場所に長時間電源を切って放置する場合は、必ず内容器内の水を完全にすてる 凍結による故障の原因になります。

■パネル部には湯がかからないように注意する 故障の原因になります。

■本体を引きずって移動しない
机などに傷のつく恐れがあります。

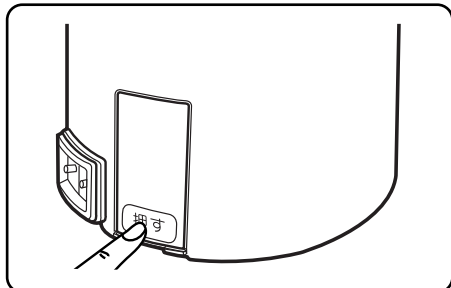
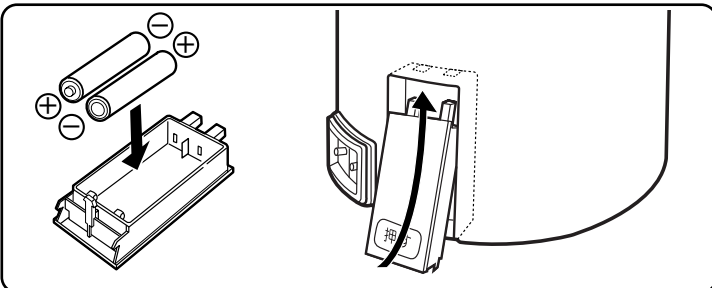
■ラジオなどの近くで使わない
ラジオ、テレビ、無線機、インターホンなどへの影響のないところまで離して使ってください。雑音が入る恐れがあります。

各部のなまえ

操作パネル
沸とうランプ
「給湯」キー
ロック解除ランプ
ドリップランプ
クエン酸洗浄
(3秒押し)
給湯
ドリップ
「再沸とう」キー
再沸とう
CORDLESS
98 90 80
90
ロック
解除
「ロック解除」キー
保温ランプ
保温
設定
タイマー
「保温設定」キー
まほうびん
液晶表示部
現在の湯温や設定湯温、タイマーの設定時間や残り時間および乾電池の残量などを液晶で表示します。
「タイマー」キー
上ぶた開閉つまみ
(フラットフック)
蒸気口
内ぶた
上ぶた
内ぶたパッキン
湯すて位置
内容器
(フッ素加工)
満水表示
ハンドル
操作パネル
ここまで
注ぎ口
ミネラル竹炭浄水
カートリッジ
本　体
プラグ差込み口
水量パネル
電源コード
給水表示
マグネット
プラグ
乾電池ケース
(背面にあります。P.6「乾電池の入れ方」参照)
容器ネット
◆内容器の底にセットされています。
差込みプラグ
回転底
◆本体が回転し、手元で湯が注げます。
◆電源コードは、別売もしています。電源コードの破損や紛失の際は、型名をご確認のうえ、お買い上げの販売店でお求めください。
型名:CD-KD12　希望小売価格:1700円
(税別:2003年9月現在)

お使いになる前に

■乾電池（単3形・2本）の入れ方

※コードレス給湯を行う場合は、P.15「コードレス給湯」をご覧ください。

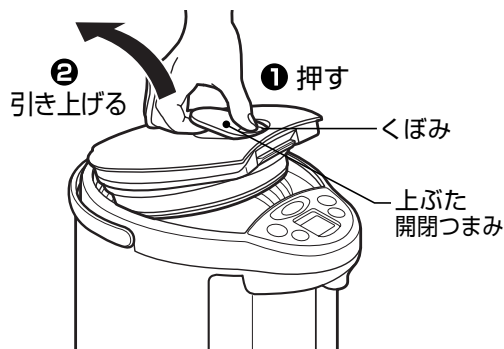
①乾電池ケースを押し、本体から乾電池ケースをはずす

②乾電池を乾電池ケースに入れ、本体にセットする

◆ ⊕⊖を間違えないように、正しく乾電池を乾電池ケースに入れる
◆乾電池ケースを「カチッ」と音がするまで本体に押し込む
◆コードレス給湯（プラグをはずす）をする前に乾電池を本体に入れる
（乾電池をあとから入れると、給湯できないことがあります。）
◆乾電池ケースの「押す」部を勢いよく押さない
（勢いよく押すと、乾電池ケースが飛び出し、乾電池や乾電池ケースの故障の原因になります。）

お願い 乾電池の使い方を誤ると、液もれ・破裂・発熱の恐れがあり、けがや故障の原因になります。次のことを必ず守ってお使いください。

※使用しないときは、必ず乾電池を乾電池ケースから出して保管する
※乾電池は、絶対にショート・充電・分解・加熱・火に入れるなどしない
※新しい乾電池と古い乾電池、種類の違う乾電池（メーカーが異なるなど）を混ぜて使わない
※使いきった乾電池はすぐに乾電池ケースから取り出して交換する
また乾電池を交換するときは2本同時に交換する
※充電式（ニカド）電池は、寸法・形状・性能の一部が異なるので使用しない

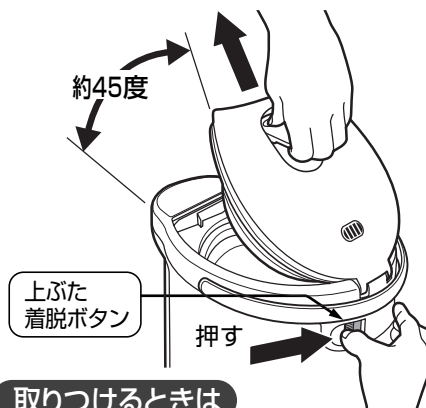
◆乾電池は市販のアルカリ乾電池（単3形・2本）をお使いください。
◆乾電池は充電しないでください。（液もれ・故障の原因）

上ぶたの開け方

「上ぶた開閉つまみ」のくぼみを押して引き上げ、上ぶたを開ける

閉めるときは

「カチッ」と音がするまで確実に押し込む

上ぶたの取りはずし方

上ぶたを約45度開け「上ぶた着脱ボタン」を押した状態で、上ぶたを斜め上に引く

取りつけるときは

斜め上から奥まで元どおり押し込む

お使いになる前に つづき

ミネラル竹炭浄水カートリッジの使い方

ミネラル竹炭浄水パックの特長

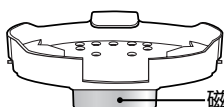
◆竹炭と活性炭がカルキ・トリハロメタンを約90%カット
（湯わかし時カルキ1ppm、総トリハロメタン50ppbの原水で試験）

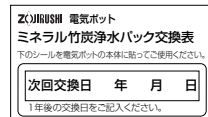
◆サンゴを主体とするコーラルサンドでミネラルを添加
（弊社基準による定格容量1回湯わかしして約3mg/L添加）

◆ミネラル竹炭浄水パックの寿命は約1年です。

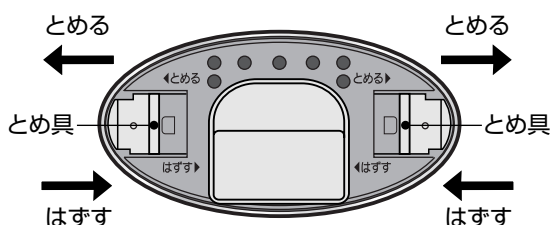
各部のなまえ

カートリッジふた

カートリッジ本体

ミネラル竹炭浄水パック（以下浄水パック）

ミネラル竹炭浄水パック交換表（シール）

◆次回交換日を記入して電気ポットの本体に貼ってください。

カートリッジふたのとめ方、はずし方

カートリッジふたをカートリッジ本体に取りつけて、カートリッジ本体裏側のとめ具を図のようにずらしてください。

ご注意

◆電気ポットが熱いときに浄水カートリッジを着脱しますと、やけどの恐れがありますので、内容器内の水をすて、浄水カートリッジが十分に冷めてから着脱してください。

◆ミネラル竹炭浄水パック（以下浄水パック）だけでの使用は絶対にしないでください。必ず浄水カートリッジにセットして使用してください。

◆カートリッジ本体には、磁石を使用していますので、キャッシュカードなどの磁気に弱いものを近づけないでください。

◆浄水カートリッジはご使用前に必ず水洗いし、その後一度湯わかしをしてその湯をすててください。

◆浄水パックは浄水カートリッジに取りつける前に、必ず水洗いし、P.8の正しい使い方にしたがって取りつけてください。

◆浄水カートリッジを取りつけるときは、電気ポット内容器底面の指定の位置にゆっくりと取りつけてください。（P.8参照）

◆クエン酸洗浄は浄水カートリッジを本体からはずして行ってください。誤って浄水カートリッジをつけたままクエン酸洗浄を行った場合は、浄水パックを交換してください。（浄水カートリッジの性能の低下の恐れがあります。）

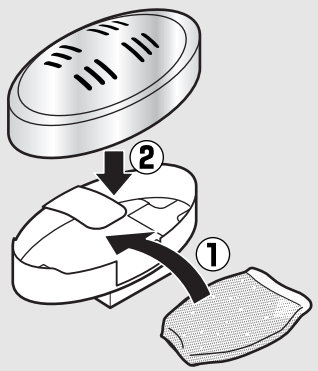
◆浄水パック交換時にカートリッジふたやカートリッジ本体内面を触るときは、注意してください。（指を切る恐れがあります。）

◆弊社ミネラル竹炭浄水カートリッジ（以下浄水カートリッジ）搭載機種以外には、使用しないでください。

■正しい使い方

1 浄水パックを水洗いする

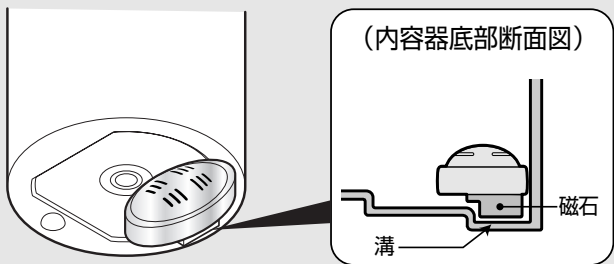
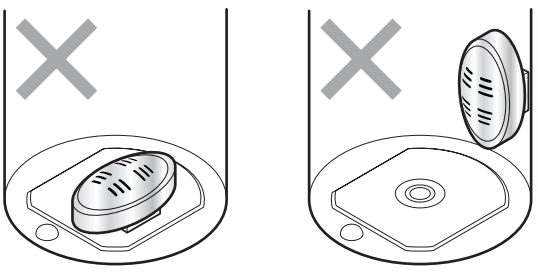
※洗剤・漂白剤は使わないでください。
（浄水効果がなくなります。）
※もみ洗いはしないでください。
（浄水パックがやぶれる可能性があります。）

2 浄水パックをセットする

3 カートリッジふたをとめる

※P.7「カートリッジふたのとめ方、はずし方」参照

4 浄水カートリッジを内容器の底面にセットする

磁石が内容器底の図の位置（左右どちらか）にはまるようにセットしてください。

※カートリッジ本体の磁石を容器底の溝に確実に取りつけてください。

※内容器底の中央部や、内容器側面には取りつけないでください。

5 一度湯わかしし、その湯をすてる

※P.10「湯をわかす」、P.12「残り湯をすてる』参照

もらいさびについて

◆カートリッジ本体には、磁石を使用していますので、鉄粉が付着する場合があります。
浄水カートリッジを取り出したときには、鉄粉が付着していないか確認してください。
付着している場合は、柔らかいスポンジなどでふき取ってください。

◆電気ポットの内容器の底面、側面、および浄水カートリッジの外面には、もらいさびがつきやすくそのまま使用するとさびの原因になります。月に1回を目やすに浄水カートリッジを取り出し、もらいさびが付着していないか確認してください。

正しい使い方

初めてお使いになるときや、長期間お使いにならなか
また、使い始めはプラスチックなどのにおいがするこ

1 上ぶたを開け、水を入れる

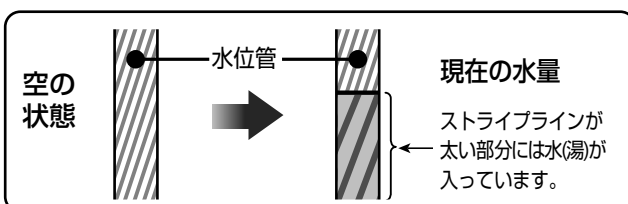
■水は水道の蛇口から直接入れず、別の容器で入れる(あふれるとショート・感電の恐れ)

■満水表示以上、水を入れない(湯がふき出し、危険)

■本体および操作パネルに水がかからないように注意する(感電・故障の原因)

■容器ネットがセットされているか確認する

※熱湯を入れると空だき防止機能がはたらくことがあります。（P.12「空だき防止について」参照）

■水量により水量パネルの水位管のストライプラインの太さがかわります。

報知音（メロディー報知・ブザー報知・サイレント）の切りかえ方

この製品には沸とう完了時やタイマーセット完了時にメロディー音または、ブザー音でお知らせする機能がついています。初期は メロディー報知 に設定されていますが次の操作で切りかえができます。

1. 湯わかし中または、保温中に ロック解除 キーを3秒以上押す

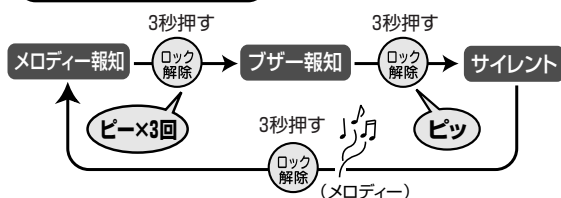
※コードレスのときは、切りかえはできません。

2. 切りかえたい音が鳴ったら、切りかえ完了

※ サイレント に切りかえたときは短い「ピッ」音が鳴ります。

報知音の切りかわり

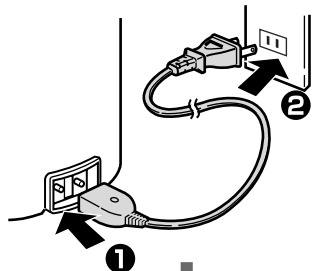
■各モードでの報知音の鳴るタイミングと種類

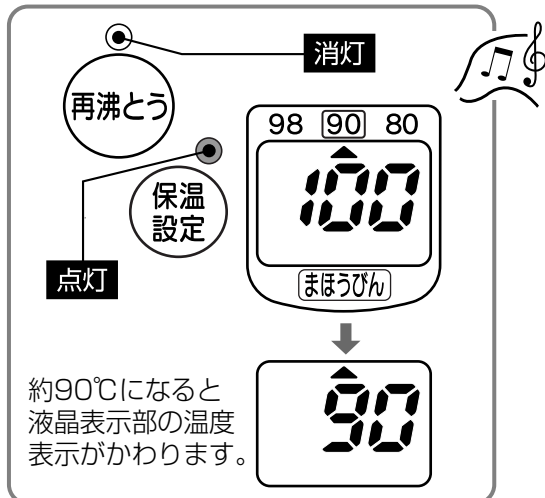
タイミング ＼ モード	メロディー報知	ブザー報知	サイレント
タイマーセット完了時	メロディー（『ビューティフルドリーマー』）	鳴りません	鳴りません
沸とう完了時	メロディー（『メヌエット』）	ピー×5回	鳴りません

※ サイレント でもキーの受けつけ音は鳴ります。（「ピッ」または「ピー」）

※プラグを抜いて、しばらくすると報知音の設定は メロディー報知 に戻ります。

った場合は、一度湯をわかし、ロックを解除して「給湯」キーを押した後、残り湯をすててから、ご使用ください。
とがありますが、ご使用とともに少なくなります。

2 湯をわかす（蒸気セーブ）→ 保温（90保温）

プラグを接続すると、自動的に
湯わかし開始（蒸気セーブ）

沸とうランプが点灯し、液晶表示部に
水温を5℃きざみで表示します。

湯わかしが完了→保温
（メロディーが鳴り、沸とうランプが消灯、保温ランプが点灯）

約90℃になると
液晶表示部の温度
表示がかわります。

90保温

98保温に比べ、保温電気代※が約40%節約になります。

※1日2回給水湯わかし・2回再沸とう24時間/日・365日/年使用し、湯わかし2回再沸とう2回分を引いた電気代

蒸気セーブ

沸とう直前にヒーターのパワーを下げ、壁や家具への影響が気になる蒸気の量をセーブします。

※湯の量が少ない場合や再沸とう時は蒸気セーブにならないことがあります。

■やけどの恐れがありますので、以下の内容をお守りください。

- ・沸とうランプ点灯中は上ぶたを開けない
- ・沸とう中は湯を注がない
- ・蒸気口にふきんをかけない
- ・蒸気口から出る蒸気に注意する

湯わかしが終わるまでの時間
約26分

(室温20℃、水温20℃、満水)

※この時間には沸とう後のカルキとばし時間(約4分)が含まれています。

保温中に湯が少なくなったら水をつぎ足してください。(自動的に湯わかしを始めます。)

つぎ足す水の量が少ないと、沸とうしない場合があります。その場合は「再沸とう」キーを押してください。

※水をつぎ足す場合、蒸気に注意する（やけどの恐れ）

※上ぶたは勢いよく閉めない
(湯がふき出し、やけどの恐れ)

正しい使い方 つづき

3 湯を注ぐ

ロック解除 キーを押す

ロック解除ランプが点灯し、湯が注げる状態になります。

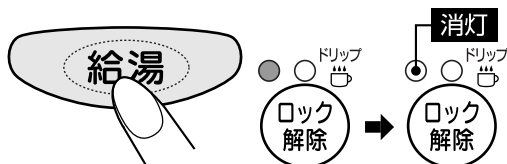
給湯 キーを押して湯を注ぐ

注ぎ終わると約10秒後にロック解除ランプが消灯、「自動給湯ロック」がかかります。

※注がないときも約10秒後にロックされます。

■注ぐとき本体が回らないように注意する　(やけどの恐れ)

■本体を回すとき電源コードが巻きつかないように注意する　(転倒の恐れ)

■内容器が空のとき、ロック解除して「給湯」キーを押さない　(故障の原因)

※ロック解除ランプが消えているときは湯は出ません。

※1杯目の湯は、ぬるくなることがあります。

※沸とう後しばらくは湯が出にくいことがあります。

※湯わかしおよび保温中は本体が熱くなりますので注意してください。

自動給湯ロックとは

うっかり「給湯」キーに触れたとき、湯が出ない安全機能です。

カフェドリップ給湯

少量(通常給湯の約60%)ずつ給湯できるので、湯のはね返りが少なくコーヒードリップに最適です。

① ロック解除 キーを押す

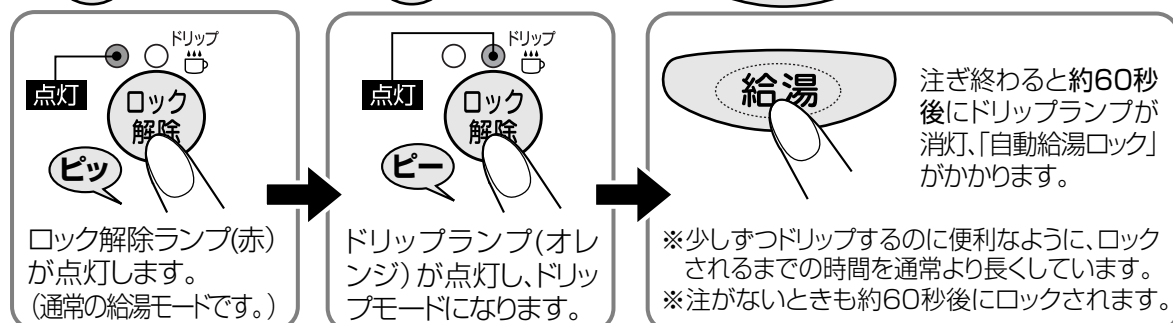
ロック解除ランプ(赤)が点灯します。
(通常の給湯モードです。)

② もう一度 ロック解除 キーを押す

ドリップランプ(オレンジ)が点灯し、ドリップモードになります。

③ 給湯 キーを押して湯を注ぐ

注ぎ終わると約60秒後にドリップランプが消灯、「自動給湯ロック」がかかります。

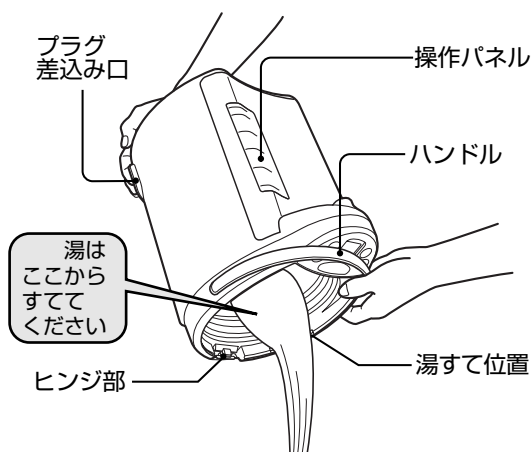
※少しずつドリップするのに便利なように、ロックされるまでの時間を通常より長くしています。
※注がないときも約60秒後にロックされます。

◆ドリップモードになった後、さらに「ロック解除」キーを押すと、通常の給湯モードに戻ります。

※コーヒーをドリップするときは、やけどに十分注意してください。
※簡易型レギュラーコーヒーは、ドリッパーが倒れないようにしっかりとカップにセットしてご使用ください。
※1杯目の湯は、ぬるくなることがありますので、特にコーヒーをドリップするとき、出はじめの湯は使わないようにしてください。
※カフェドリップ給湯時(特に湯の量が少ないとき)は、「給湯」キーを押してから湯が出るまで時間がかかります。
※コードレス給湯時で、乾電池残量が少ない場合には、給湯できない場合があります。

4 残り湯をすてる

①プラグを抜き、上ぶたをはずす

②図のように両手で本体を持つ（すべらないようにしっかり持ってください。）

③内容器の湯すて位置から残り湯をすてる

※容器ネットをなくさないでください。

※乾電池の脱落に注意してください。

■ぬれた手で差込みプラグやマグネットプラグを持たない (ショート・感電の恐れ)

■上ぶたは必ずはずして湯をすてる
(上ぶたがはずれ、やけどの恐れ)

■操作パネルやヒンジ部・ハンドル・プラグ差込み口・乾電池ケースに湯がかからないよう注意する
(やけどや故障の原因)

■注ぎ口からのしずくが手にかからないよう注意する (やけどの原因)

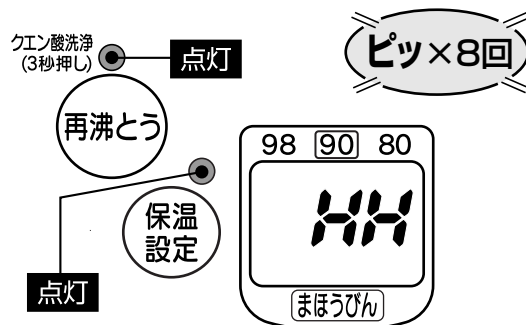
■1日1回は残り湯をすてる (水アカ付着の原因)

■本体を激しく振らない
(浄水カートリッジが落下する恐れ)

空だき防止について

次のようなときは、過熱による故障を防ぐために空だき防止機能がはたらいてヒーターへの通電を止め、表示(下図)とブザーでお知らせします。

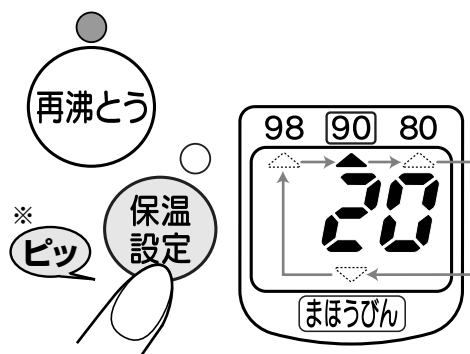
- 水を入れずにプラグを接続したとき
- 給水表示以下の水量でわかしたとき
- 湯を使いきったまま放置したり、給水するため、上ぶたを開けたまま放置したとき
- プラグを接続後、すぐ熱湯を入れたとき

処置　プラグを抜き、内容器が十分冷めてから水を入れ、再びプラグを接続する

※空だきを繰り返すとフッ素被膜が変色したり、はがれたりする原因になります。

保温設定をかえる

キーを押して設定したい温度を選ぶ

キーを押すたびに表示部の「▲」マークが移動し、設定がかわります。

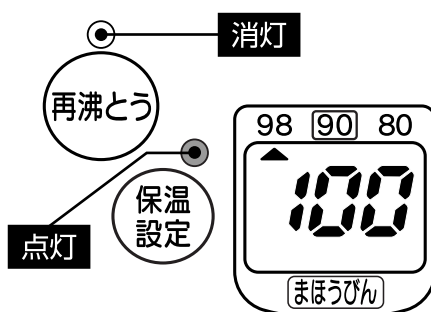
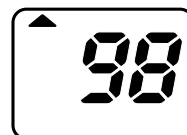
90 → 98 → 90 → 80 → まほうびん
(初期)

※90保温に設定したときは「ピー」

◆初期は90保温に設定されています。

◆保温温度の設定は保温中でもできます。(この場合、湯温により自動で再沸とうを開始する場合があります。)

98保温

98℃はコーヒーや紅茶、カップめんに適した温度です。

湯わかしが終わるとメロディーが鳴り、沸とうランプが消灯、保温ランプが点灯

湯温が約98℃になると温度表示がかわる

◆沸とうし続けるのを防ぐため、気圧などの条件によっては、96～97℃で保温することがあります。

■80保温中やまほうびん保温中に誤ってプラグがはずれた場合、再びプラグを接続すると90保温に戻り、自動的に再沸とうを開始することがあります。
再沸とうを取り消す場合は、次の手順で取り消してください。

① 保温設定 キーを押し、「80」または「まほうびん」に設定する

② 続けて 再沸とう キーを押す

◎ただし、水をつぎ足した場合など、湯温が低い時は取り消しできません。

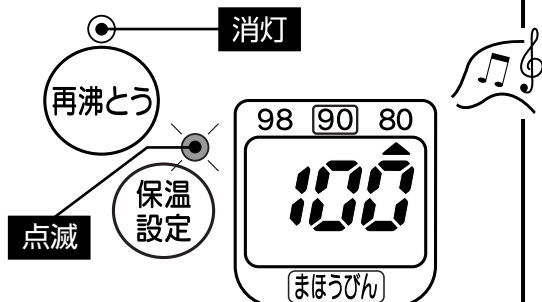
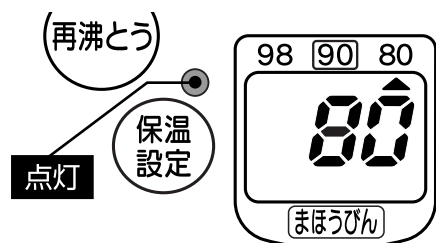
※カルキ除去のため、一度沸とうさせてから使用してください。水からの湯わかし中に中断させるとカルキが除去されていない場合があります。

※「再沸とう」キーで再沸とう、再沸とう取り消しの動作を繰り返さないでください。故障の原因になります。

80保温

80℃は日本茶（煎茶）に適した温度です。

湯わかしが終わるとメロディーが鳴り、沸とうランプが消灯、保温ランプが点滅

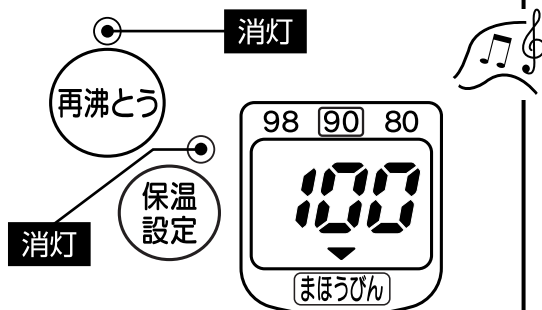
（保温中に設定した場合、80保温設定の2秒後に点滅にかわります。）

湯温が約80℃になると温度表示がかわり、保温ランプが点滅から点灯にかわる

湯わかし後、湯温が80℃になるまでの時間
約5時間20分

（室温20℃の場合、容器中央部の湯温に基づく）

※温度センサーが底部にあるため、真空容器の構造上、温度表示は上記の時間よりも早めにかわります。
※水量・室温などにより時間が変化することがあります。
※湯の温度を早く下げたい場合は、湯の量を減らしてください。
※湯温が下がっている途中で給水すると、沸とうしないことがあります。

まほうびん保温

沸とうが完了するとヒーターへの通電を切り、まほうびん構造によって保温するので、電気代の節約になります。

湯わかしが終わるとメロディーが鳴り、沸とうランプが消灯し、まほうびん保温に切りかわる

■まほうびん保温に設定した場合の湯温

	2時間後	4時間後	6時間後
湯わかし完了から	約92℃	約84℃	約78℃

（室温20℃、満水の場合の容器中央値）

※湯温は徐々に降下していきますが、まほうびん保温の場合は実際の湯温より低い温度を表示することがあります。

※湯の量が少ないときは、湯温が早く下がります。

※まほうびん保温中に、湯温が降下した場合や水をつぎ足した場合など、**湯温が低くなっても自動的に湯わかしは始めません。**必ず「再沸とう」キーを押してください。

※節約タイマーを使った場合は、設定時間後に湯わかしが完了して、まほうびん保温になります。

正しい使い方 つづき

■コードレス給湯 電源コードなしでも給湯できる便利な機能です。

① **プラグをはずす前に乾電池を本体に入れる**（P.6「乾電池の入れ方」参照）

◆乾電池をあとから入れると、給湯できないことがあります。

② **プラグをはずす**

③ **湯を注ぐ**（P.11「正しい使い方」参照）

コードレス時は…

◆給湯以外のキー操作はできません。
◆時間の経過とともに湯温は下がります。１時間後で約4℃下がります。
（室温20℃、満水の場合/内容器の湯量が少ないほど早く下がります。）
◆電源コード使用時に比べ、給湯量が少なめになります。また、連続して給湯すると湯が出にくくなることがあります。
そのときは一度給湯をやめて、数秒待ってから再度給湯してください。
◆コードレス時は、湯温がかわってもすぐに正しい温度を表示しないことがあります。
◆プラグをはずしてから約5時間後に液晶表示が消え、湯が注げなくなります。
（乾電池が入ってない時は、プラグをはずしてから約1時間は液晶表示しますが湯は注げません。）

乾電池の残量表示について

プラグをはずしたとき、コードレス給湯用の乾電池交換時期の目やすをお知らせします。

表示の種類と意味

乾電池残量表示

90

❶ ……使用可能な乾電池が入っています。

❷ ……そろそろ乾電池の交換時期です。
コードレスで給湯したときにこの表示が出るようになったら新しい乾電池と交換してください。

❸ ……乾電池が入っていない、またはほとんど使用できない乾電池です。

※プラグを接続しているときは表示されません。
※表示はあくまで目やすとしてお使いください。
※プラグをはずした直後や、新しい乾電池と交換した直後など正しく残量を表示しないことがあります。
（もう一度コードレス給湯をした際に正しい表示を行います。）
※カフェドリップ給湯モードのときには、乾電池残量が減ってくると表示がでも湯が出ないことがあります。
（「ロック解除」キーをもう一度押し、通常の給湯モードにすると、湯は注げます。）

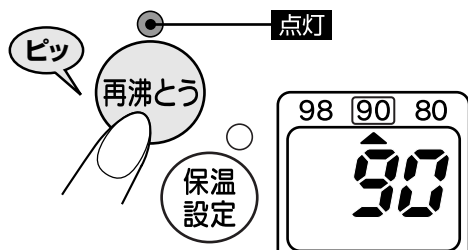
■乾電池（別売）の寿命の目やす

アルカリ乾電池（単3形・2本）	給湯量 約300L

※新しい乾電池でも長時間乾電池ケースに入れたままで使わない場合、所定の性能を満足しないことがあります。

■再沸とう

保温中の湯を再びわかすときに使います。

キーを押す

再沸とうが完了→保温
(沸とうランプが消灯、保温ランプが点灯)

■再沸とうが終わるまでの時間 (室温20℃、満水)

90保温の場合	98保温の場合
4〜6分	2〜3分

※再沸とう時は、蒸気セーブにならないことがあります。

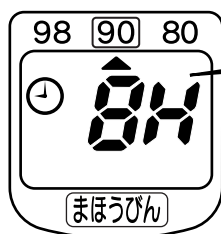
※再沸とうさせるときは、給水表示以上の湯が入っていることを確かめてから「再沸とう」キーを押してください。

※保温ランプが点灯するまでは湯を注がないでください。湯が出にくいことがあります。

■節約タイマー

節約タイマーをセットすると、いったんヒーターへの通電が止まり、希望の時間に湯わかしが完了しています。

(タイマー) キーを押し、希望の時間をセットする

タイマー ピッ

※6Hに設定したときは「ピー」

キーを押すたびに設定時間が切りかわります。

→6H → 7H → 8H → 9H → 10H → (取消)

メロディーが鳴り、節約タイマーが自動的にスタート
液晶表示部に残りの時間を表示

※メロディー報知をブザー報知、サイレントに切りかえているときは、ブザーは鳴りません。
(P.9「報知音の切りかえ方」参照)

設定時間後には湯わかしが完了
メロディーが鳴り、沸とうランプが消灯、保温ランプが点灯

※一度プラグがはずれると節約タイマーは解除されますので改めて設定してください。

※節約タイマーを取り消すときは、「タイマー」キーを数回押すか、「再沸とう」キーを1回押してください。

節約タイマーを使用した場合、98℃保温のとき約30%、90℃保温のとき約20%電気代の節約になります。

※1日2回給水湯わかし・1回再沸とう、8時間タイマーを利用し、24時間/日・365日/年使用の場合

お手入れ

必ずプラグを抜き、残り湯をすて、本体が冷めてから
お手入れしてください。

内容器

赤さび状の斑点(もらいさび)･乳白色･黒色などの変色･白い浮遊物は水の成分(ミネラル分)によるもので、内容器自体の変色や腐食ではありません。
衛生上問題はありませんが、定期的(1～3ヶ月に1回)にクエン酸洗浄を行ってください。
※使用される水質や湯わかしの回数によって汚れの状態は違ってきます。

クエン酸洗浄のしかた

※容器ネットが汚れている場合は、内容器からはずし、ブラシで洗って再度取りつけてください。
※クエン酸洗浄時には、必ず浄水カートリッジをはずしてください。

① コップにクエン酸30ｇを入れて、ぬるま湯で溶かす
② 内容器に水を入れ、① のクエン酸を溶かしたぬるま湯を入れる
③ プラグを接続して、再沸とう キーを3秒以上押す

※水は満水表示以上入れすぎない
(ふきこぼれる恐れ)
※クエン酸洗浄中の湯は飲まない

約1時間30分

ランプと液晶が同時点滅

ランプと液晶が点灯にかわる

◆洗浄時間は、水量･水温･室温などにより多少かわります。
◆汚れが落ちにくい場合は、繰り返しクエン酸洗浄をしてください。

途中でクエン酸洗浄を取り消すときは
プラグを5秒以上抜く

④ プラグをはずして湯をすてる
⑤ 水だけをわかし､湯をコップ１杯程度吐出させたあと、
残りの湯をすてる（内容器および注ぎ口内部をすすぐため）

◆泡立ち､ふきこぼれ防止のため､弊社のポット内容器洗浄用クエン酸(ピカポット)をお使いください｡(別売)
洗浄用クエン酸は象印製品取扱店でお求めください。
（クエン酸は食品添加物につき､食品衛生上無害です。）

型名：CD-KB03 (30g×4包入り)
希望小売価格：380円　(税別:2003年9月現在)

容器ネット

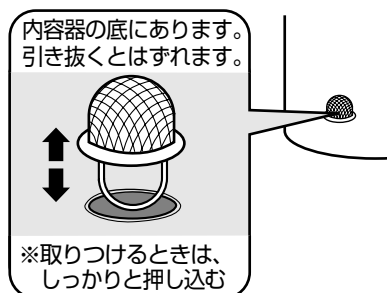
内容器からはずし､ブラシで洗う

それでも汚れが取れない場合は､容器ネットを交換してください。交換の際は､製品の型名をご確認のうえ､製品をお買い上げの販売店でお求めください。

部品名：容器ネット　部品番号：62-7402
希望小売価格：300円（税別：2003年9月現在）

※容器ネットは必ず取りつけて使用する
（異物が電動ポンプ内に入り､湯が出なくなる原因）

内容器の底にあります。
引き抜くとはずれます。

※取りつけるときは、
しっかりと押し込む

浄水カートリッジ

◆1ヶ月に1回程度、柔らかいスポンジで浄水カートリッジの表面をこすりながら水洗いしてください。このとき水以外（洗剤・漂白剤など）は、絶対に使用しないでください。汚れが落ちにくい場合は、その部分だけスポンジたわしなどでこすってください。（樹脂部分は除く）

◆浄水カートリッジを使用しないときは、よく乾燥させてからポリ袋に入れて高温、多湿の場所を避けて保管してください。

もらいさびについて

電気ポットの内容器の底面、側面、および浄水カートリッジの外面には、もらいさびがつきやすくそのまま使用するとさびの原因になります。
月に1回を目やすに浄水カートリッジを取り出し、もらいさびが付着していないか確認してください。付着している場合は、柔らかいスポンジなどでふき取ってください。

上ぶた・本体（外装）

よく絞ったふきんで汚れをふき取る

内ぶた

柔らかいスポンジで洗い、水ですすぐ

電源コード

乾いたふきんで汚れをふき取る

ご注意とお願い

■お手入れはこまめに

- アルカリイオン水をご使用になる場合は内容器にカルシウムが付着しやすくなります。また、内容器や容器ネットに付着した水アカなどの汚れをそのままにしておくと、湯わかしの音が大きくなったり、湯の出が悪くなります。
- 内容器はフッ素加工をしていますが長期間お手入れしないと変色が取れにくくなります。

■水以外のものは入れない

市販の水質改質材（炭など）やミネラル添加材を入れて使用しないでください。（かけらが詰まって故障の原因）

■製品の丸洗いや操作パネル部には絶対水をかけない。また、底がぬれた状態で製品を逆さまにして乾燥させない (内部に水が入り、故障・さびの原因)

■次のものは使わない

- 洗剤 (においが残る原因)　•食器洗い乾燥機や食器乾燥器 (変形の原因)
- ベンジン・シンナー (樹脂が劣化する原因)
- みがき粉、ナイロンたわし、金属たわし、金属ヘラなど (内容器・内ぶたなどの傷つきやフッ素被膜のはがれの原因)

浄水パックの交換について

ご使用頻度により異なりますが、約1年で浄水パックを交換してください。
交換の際は、製品の型名をご確認の上、お買い上げの販売店でお求めください。（有償）

※内容器が冷えてから浄水カートリッジを取りはずし、浄水パックを交換してください。

※湯わかし中や本体が高温のときは、絶対に交換しないでください。（やけどの恐れ）

※浄水カートリッジ内に湯が残っているため注意してください。（やけどの恐れ）

◆付属のミネラル竹炭浄水パック交換表（シール）に次回交換日（1年後の日付け）を記載し、電気ポットの本体に貼ってください。

ミネラル竹炭浄水交換用パック
型名:CD-KN01
希望小売価格:800円（税別:2003年9月現在）

内ぶたパッキンの交換について

内ぶたパッキンは消耗品です。1年を目やすにご確認ください。
上ぶたのすき間から蒸気がもれだしたら、新しい内ぶたパッキンと交換(有償)してください。
交換の際は、製品の型名をご確認の上、お買い上げの販売店でお求めください。

内ぶたパッキンのはずし方

①3本のネジをゆるめる

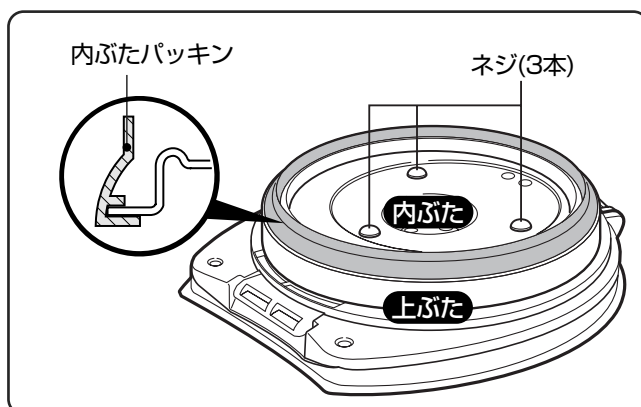
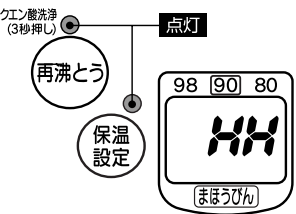
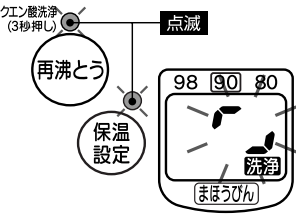
※ネジは上ぶたからはずさないでください。
万一はずれた場合、ネジをなくさないでください。

②内ぶたパッキンをはずす

内ぶたパッキンのつけ方

①内ぶた外周に、内ぶたパッキンを図の通りきっちりとはめ込む

②ネジを確実に締めつける

※内ぶたをはずした場合は正しくセットしてください。

部品名：内ぶたパッキン　部品番号：62-7303
希望小売価格：700円（税別：2003年9月現在）

「故障かな?」と思ったときは

◎修理を依頼される前に下記の項目をご確認ください。いずれの場合にもあてはまらない場合には、型名とともにお買い上げの販売店または、弊社のお客様ご相談窓口までご連絡ください。

症　状	原　因	処　置
湯がわかない	プラグがはずれている	プラグを差し込む
	マグネットプラグの先端に金属片やごみがついている	差込みプラグを抜いてからマグネットプラグの先端を掃除する
湯が出ない・出にくい	自動給湯ロックになっている	ロック解除 キーを押してから 給湯 キーを押す (P.11「3 湯を注ぐ」参照)
	沸とう直後数分間は、湯が出にくくなることがあります。	一度上ぶたを開け、泡を逃がした後上ぶたを閉める (上ぶたを開けたときに蒸気に注意)
	マグネットプラグの先端に金属片やごみがついている	差込みプラグを抜いてからマグネットプラグの先端を掃除する
	内容器·容器ネットに水アカなどがついている	内容器·容器ネットを掃除する (P.17「お手入れ」参照)
	プラグがはずれている (乾電池を使用していない場合)	プラグを差し込む
	コードレス時に ●乾電池が入っていない ●乾電池の入れ方が間違っている ●乾電池が切れている	新しい乾電池を正しく入れる (P.6「乾電池の入れ方」参照)
湯が冷めやすい (まほうびん設定時)	湯が少なくなっている	水を足し(満水表示以下)、再沸とう キーを押す
湯がぬるい	コードレスにしている	コードレス時は時間の経過とともに湯温が下がります。 (P.15「コードレス給湯」参照)
	設定をまほうびん保温にしている ヒーターへの通電を切っていますので、湯温は徐々に降下していきます。	再沸とう キーを押す (P.14「まほうびん保温」参照)
内容器にさび状の斑点がつく	水の中の鉄分によるもので、内容器の腐食ではありません。	クエン酸で内容器をお手入れする (P.17「お手入れ」参照)
白い浮遊物が浮く	水の成分(ミネラル分)によるもので、内容器の腐食やフッ素被膜のはがれではありません。	
湯わかし中に大きな音がする	内容器についた水アカなどの汚れをそのままにしておくと、音が大きくなります。	

「故障かな?」と思ったときは つづき

症状	原因	処置
注ぎ口や蒸気口から湯が自然に出る	水を満水表示以上入れている	水を満水表示以下に減らす
ブザーが鳴り、ランプと液晶が同時に点灯する クエン酸洗浄(3秒押し) 点灯 再沸とう 保温設定 98 90 80 HH まほうびん	水が少なかったり、熱湯を入れたため、空だき防止機能がはたらいています。 (P.12「空だき防止について」参照)	プラグを抜き、内容器が十分冷めてから水を入れ、再びプラグを接続する
ランプと液晶が同時に点滅する クエン酸洗浄(3秒押し) 点滅 再沸とう 保温設定 98 90 80 洗浄 まほうびん	クエン酸洗浄中です。 (P.17「お手入れ」参照)	クエン酸洗浄を取り消す場合、差込みプラグをいったん抜き、5秒以上たってからもう一度差し込む
湯がにおう	水道水に含まれる消毒用塩素(カルキ臭)が残ることがあります。	
	使い初めはプラスチックなどのにおいがすることがありますが、ご使用とともに少なくなります。	
	浄水カートリッジが目詰まりしている	浄水カートリッジ、浄水パックを水洗いする
	浄水カートリッジを1年以上使用している	浄水パックを交換する
本体が熱くなる	湯温や室温が高い場合は本体外側が約60℃になりますが異常ではありません。	
上ぶたを開閉するときに「カラカラ」という音がする	万一転倒した場合、湯の流出を防止するためのおもりの動く音です。異常ではありません。	

樹脂部品および内容器(フッ素加工)について	ご使用にともない傷んでくる場合があります。お買い上げの販売店または、弊社のお客様ご相談窓口にご相談ください。

仕　様

型　　　　名		CV-NX30
定　格　容　量		3.0L
定　　　　格		交流100V　905W　50/60Hz
平均保温時消費電力	98	約18W
	90	約15W
	80	約13W
電　源　コ　ー　ド		1.2m
外形寸法(約cm)		幅21×奥行28.5×高さ29.5
質 量(コード含む)		約3.2kg
電動ポンプ(電動機)消費電力		約1.3W

◆平均保温時消費電力とは、1時間当たりを示し室温20℃で満水保温の場合です。
◆節約タイマー使用時の消費電力は、約0.4Wです。　◆高さは、ハンドルを倒した場合の寸法です。
◆日本国内交流100V専用(定格100V以外の電源では使用できません。)
◆特定地域(高い山・厳寒地)においては、所定の性能が確保できないことがあります。こうした場所での使用はなるべくおさけください。

アフターサービス

1. 保証書の内容のご確認と保存のお願い

必ず「販売店印およびお買い上げ日」をご確認のうえ、お買い上げの販売店から受け取り、内容をよくお読みのうえ、大切に保存してください。

2. 保証期間は、お買い上げ日より1年間

3. 修理をお申しつけされるとき

≪保証期間中≫
製品に保証書を添えて、お買い上げの販売店にご持参ください。保証書の記載内容に基づき修理いたします。

≪保証期間を経過しているとき≫
修理すれば使用できる製品は、ご要望により有料修理いたします。

4. 補修用性能部品 ※の保有期間は、製造打ち切り後 5年間

※性能部品とは、その製品の機能を維持するために必要な部品です。

5. 修理料金の仕組み

修理料金は、技術料、部品代、出張料などで構成されています。
「技術料」は、診断・故障箇所の修理および部品交換・調整・修理完了時の点検などの作業にかかる費用です。
「部品代」は、修理に使用した部品および補助材料代です。
「出張料」は、製品のある場所へ技術者を派遣する場合の費用です。

■お客様ご自身での修理、分解や改造は絶対にしないでください。

お客様ご相談窓口

修理・お取り扱い・消耗品や部品ご購入などのご相談は、まずお買い上げの販売店にお問い合わせください。

ご転居やご贈答などでお困りの場合、弊社の窓口「お客様ご相談センター」にお問い合わせください。

所在地、電話番号などは変更になることがありますので、あらかじめご了承ください。

お客様ご相談センター　**0570-011874**
ナビダイヤル 市内通話料金でご利用いただけます

受付時間　9:00～17:00　月曜日～金曜日(祝日、弊社休業日を除く)
●携帯電話・PHSでのお問い合わせ　Tel　(06)6356-2451
●ファクシミリでのお問い合わせ　Fax　(06)6356-6143
製品の「型名・お問い合わせ内容」と、お客様の「お名前・ご住所・電話番号・Fax番号」をご記入のうえ、お問い合わせください。

ホームページのご案内

消耗品・部品のご購入専用ページ
http://www.zojirushi-fresco.com/

修理品送付先

東日本 お客様センター	〒344−0048 埼玉県春日部市大字南中曽根852-1	Tel (048)761-7370
西日本 お客様センター	〒530−8511 大阪府大阪市北区天満1丁目18-12	Tel (06)6356-2618

保証書

マイコン沸とうVE電気まほうびん　保証書　　持込修理

取扱説明書、本体表示などの注意書きに従った使用状態で保証期間内に故障した場合には、無料修理いたします。製品と本書をご持参のうえ、お買い上げの販売店にお申しつけください。製品のある場所での出張修理や製品輸送の場合は、出張料や輸送料などの実費を申し受けます。

型　名	CV-NX30
●お客様　お名前	☎
ご住所　〒	
●お買い上げ日 年　月　日	●販売店名・住所
保証期間 お買い上げ日より **本体1年**	☎

修理メモ

●印欄に記入のない場合は無効となりますから、必ずご確認ください。

1. ご転居、ご贈答などで、お買い上げ販売店にお申しつけできない場合は、弊社のお客様ご相談窓口にお申しつけください。
2. 保証期間内でも次の場合には有料修理になります。
   (イ) 使用上の誤り、および改造や不当な修理による故障および損傷。
   (ロ) お買い上げ後の輸送・移動・落下などによる故障および損傷。
   (ハ) 火災、地震、水害、落雷、その他の天災地変、および公害、塩害、ガス害(硫化ガスなど)、異常電圧、指定外の使用電源(電圧、周波数)などによる故障および損傷。
   (ニ) 一般家庭用以外(たとえば業務用の長時間使用、車輛、船舶へのとう載)に使用された場合の故障および損傷。
   (ホ) 本書のご提示がない場合。
   (ヘ) 本書にお買い上げ年月日、お客様名、販売店名の記入のない場合あるいは字句を書きかえられた場合。
   (ト) 消耗部品の交換。
3. 本書は日本国内においてのみ有効です。
   This warranty is valid only in Japan.
4. 本書は盗難・火災などの不可抗力以外で紛失された場合は、再発行いたしませんので大切に保存してください。

この保証書は、本書に明示した期間・条件のもとにおいて無料修理をお約束するものです。従ってこの保証書によって、お客様の法律上の権利を制限するものではありませんので、保証期間経過後の修理などについてご不明の場合は、お買い上げの販売店または弊社のお客様ご相談窓口にお問い合わせください。

象印マホービン株式会社
〒530-8511　大阪市北区天満1丁目20番5号 ☎(06)6356-2391

愛情点検　**長年ご使用のマイコン沸とうVE電気まほうびんの点検を!**

こんな症状はありませんか

●ご使用中、電源コード・差込みプラグが異常に熱くなる。
●保温ランプに切りかわらないときがある。
●その他の異常や故障がある。

ご使用中止

こんな症状のときは、故障や事故の防止のため、必ず販売店に点検(有料)をご相談ください。